

哲 學 研 究

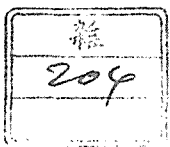
第 五 卷 第 三 冊
第 四 十 八 號

大 正 九 年 三 月 一 日 發 行

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正九年二月二十七日印刷納本（毎月一回一日發行）

美の本質	………	文學博士	西田幾多郎
デカートの倫理思想とカントの倫理思想	………	文學博士	朝永三十郎
相對的變化國發達の客觀的內觀的考察	………	文學士	檜崎淺太郎
約翰傳福音書の宗教哲學的思想	………	文學士	日野眞澄
心理的前定に就いて	………	文學士	務臺理作
榮報新著紹介	………		

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會



京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
 - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ替同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年參圓四拾錢、前後二期ニ分ケテ前納ス
- ハキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且、雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

書記

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學士	田邊元
文學士	務臺理作
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
文學士	澤村專太郎
文學士	寶嚴方治

彙報

寄贈書籍雜誌

印度宗教學會

十二月例会、二十日午後六時より文學部第六教室にて次の講演を開けり。

- 一、眞言密教の觀法に就て、 鳥越 文學士
- 二、約翰傳の宗教思想、 日野 講師

心理學讀書會

二月五日次の講演あり。

Sutis, B. An experimental Study of Sleep.

文學士 深田 武君

網膜の血管像に就いて

文學士 黒田 源次君

社會學會

一月卅日學生集會所にて

自我意識の發生

馬場 剛君

なる講演を開く米田講師學生出席。

人類の再生

杉森孝次郎著
東方時論社

意識の問題

文學博士 西田幾多郎著
岩波書店

哲學雜誌、丁酉倫理講論集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、
 東亞之光、無盡燈、六條學報、密宗學報、高野山時報、文化運動
 學校教育、教育、内外教育評論、國民教育、教育學術界、教育界
 教育研究、教育時論、現代教育、東京教育、静岡教育、岐阜教育
 三重教育、愛知教育、信濃教育、佐賀教育、藝備教育、長崎縣教
 育、愛媛教育、

前 號 目 次

認識主觀の問題(承前).....	文學博士	田邊 元
プラトノの美學.....	文學博士	深田 康算
生活準備と連續的發展.....	文學士	篠原 助市
音覺の屬性に就いて.....	文學士	岩井勝二郎
在支外人の支那教化運動と其動機.....	文學士	田中 廣吉
彙報.....		

註 文 規 定	廣 告 料	定 價	會 告																
<p>◎ 會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候</p> <p>◎ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候</p> <p>◎ 振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候</p> <p>◎ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候</p> <p>◎ 見本御入用の場合は金參拾錢御送り下され度候</p> <p>◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候</p>	<p>一頁 金拾圓 半頁 金六圓</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">冊</td> <td style="text-align: center;">數</td> <td style="text-align: center;">定 價</td> <td style="text-align: center;">郵 税</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一</td> <td style="text-align: center;">冊</td> <td style="text-align: center;">金參拾錢</td> <td style="text-align: center;">金壹</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">六</td> <td style="text-align: center;">冊(前金)</td> <td style="text-align: center;">金壹圓八拾錢</td> <td style="text-align: center;">不 申</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">十二</td> <td style="text-align: center;">冊(前金)</td> <td style="text-align: center;">金參圓六拾錢</td> <td style="text-align: center;">不 申</td> </tr> </table>	冊	數	定 價	郵 税	一	冊	金參拾錢	金壹	六	冊(前金)	金壹圓八拾錢	不 申	十二	冊(前金)	金參圓六拾錢	不 申	<p>一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候</p> <p>一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候</p> <p>一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候</p> <p>一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候</p> <p style="text-align: center;">京都帝國大學 京都哲學會 文學部内 振替口座大阪參〇六六參番</p>
冊	數	定 價	郵 税																
一	冊	金參拾錢	金壹																
六	冊(前金)	金壹圓八拾錢	不 申																
十二	冊(前金)	金參圓六拾錢	不 申																

發賣元

東京日本橋區本石町三丁目
大阪市東區淡路町四丁目

寶文館

發行所

東京日本橋區本石町三丁目
(振替口座東京二八〇番)

寶文館

大正九年 二月二十七日印刷納本
大正九年 三月 一日發行

第四十八號 第五卷 第三冊

不許複製
禁轉載

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、
上田屋 (大阪) 盛文館 (京都)

寶文館 (神戸) 寶文館

編輯者 京都帝國大學文學部内
右代表者 京都哲學會
發行者 寶嚴方治
印刷者 大葉久吉
印刷所 青柳十一郎
秀英舎第一工場

東京高等師範學校教授
吉田 文 靜 致 著

倫理學演義

布裝 全一冊
定價金六圓五拾錢
送料金貳拾四錢

該博の知識と最新にして卓越せる見識とを以て、倫理學の巨細を詳叙せられたる本書は、既刊の倫理書中一頭地を抜き、紙數壹千參百餘頁悉く金玉の文字に滿つ。斯學の研究に志す士及び文檢受驗者諸君の是非一讀を要する好著たり。

倫理學要義

布裝 全一冊
定價金參圓五拾錢
送料金拾八錢

本書は斯道新進の大家たる吉田先生が倫理學の要義を懇切に記述せられたるものにして、發賣以來好評嘖々、既に十數版を重ね。弊館は此の絶好の名著を紳士・淑女の座右にすゝむるを光榮とす。幸に一本を求められんことを望む。

東京・寶文館・大阪

哲學研究

第四十八號

第五卷

大正三年三月

九年(每月一回發行)

(大正五年四月六日第三種郵便物認可)

定價金參拾錢